

平成 30 年 9 月 3 日

第 1 回全国 Biz サミット 視察報告書

創政会 矢口迪夫

勝田達也

8 月 24 日金曜日、静岡県富士市で開催されました「第 1 回全国 Biz サミット in 富士」に参加いたしました。Biz サミットとは富士市産業支援センター f-Biz の中小企業支援手法をモデルに、自らの中小企業支援機関を設置した全国各地の自治体同士が、各々の成果や課題を共有し、支援力、連携力を高め、地方から日本を元気にしていく会議です。代表の小出氏には 4 月 19 日に土浦市において f-Biz の講演をしていただき、創政会の公開講演会としたので多くの市民の方々にご来場いただきました。今回は、日本全国 10,000 社の中小企業の相談を受けている実績のある、それぞれの場所で活躍するセンター長から直接話を聞いたことは収穫でした。なぜなら、代表の小出さんも言っている通り、このモデルの成功にはセンター長のビジネスセンスとコミュニケーション能力が必須だからです。直接会い話を聞くことが人となり判断する有用な方法だからです。

第 1 部のパネルディスカッションでは全国の 17 の Biz 担当者が入れ替え制で成功事例の発表とパネリストになりディスカッションを行いました。その中でパネリストは、各 Biz は発信の手法を駆使しているが、発信ありきではない。その前にその企業の「売り」＝会社の唯一無二の「セールスポイント」を探し、磨きをかけて他の追随を許さない揺るぎない「セールスポイント」とする事が必要と話しておりました。

第 2 部の基調講演では「新たな時代を生き抜く中小企業とは」と題し、シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢久美氏が講演しました藤沢さんは、自身も起業家であり、これまで 1,000 社以上の元気な企業の取材活動を手掛け、上場企業の社外取締役も兼務しています。企業活動のグローバル化や IT の普及、人口減など中小企業を取り巻く経営環境が大きく変化しています。新しい時代に生き残るために中小企業がいま取り組むべきことは何かについて講演されました。

サミットに参加してこのBizモデルは自治体の規模や立地には関係ないこと。つまり日本全国どこでも通用する可能性があること。商業、工業、農業、NPOなど様々な分野で効果が見いだせることなどを理解いたしました。決め手はセンター長の能力です。ゆえにモデルだけでは効果は出ないことも理解いたしました。土浦市においても中小企業の経営状態改善、売り上げアップ、雇用増加へむけて研究してまいりたいと思います。

